

2023年度第3回講演会「次世代フレキシブル生体センサ」

バイタルサインモニタリングデバイスの世界市場規模は、IMARC Services が 2022 年に発表したレポートによれば、2021 年には 50 億ドルに達し、2027 年までに 74 億ドルに達すると予測されています。これまでに、スマートウォッチや e-テキスタイル等を利用した様々な技術開発が進められる中、医師の判断に資するレベルのデータ獲得を目指したものや、新たなニーズ開拓を目指した次世代生体センサの用途開発も進められています。今回は 3 名の講師をお招きし、生体センサに関連する現状と今後の展望を学ぶ機会にしたいと思います。奮ってご参加ください。

日時 令和 2024 年 1 月 22 日 (月) 午後 13 時 30 分～16 時 50 分

場所：産総研 臨海副都心線センター (対面のみを予定)

(<https://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/>)

13：30～13：35 開会のあいさつ、本研究会の趣旨説明

13：35～14：35 「超軽量・超薄型の生体センシングデバイスの研究開発」

大阪大学 准教授 植村 隆文 様

14：35～15：35 「ヘルスケア・医療のためのウェアラブルバイオデバイスの開発」

東京医科歯科大学 教授 三林 浩二様

15：35～15：50 休憩

15：50～16：50 「未来の AI 医療診断等を目指した脳活動計測システム」

PGV 株式会社 代表取締役社長 松原秀樹 様